



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月9日

上場会社名 株式会社 シード
 コード番号 7743 URL <http://www.seed.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(氏名) 浦壁 昌広
 (氏名) 片山 和弘

上場取引所 東
 TEL 03-3813-1111

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|-------|-------|-------|-------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 30年3月期第2四半期 | 13,809 | 14.8 | 1,193 | 55.7 | 1,251 | 111.6 | 878 | 169.9 |
| 29年3月期第2四半期 | 12,029 | 15.1 | 766 | 114.3 | 591 | 79.3 | 325 | 108.1 |

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 968百万円 (269.8%) 29年3月期第2四半期 261百万円 (399.7%)

| | 1株当たり四半期純利益 | | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 | |
|-------------|-------------|--|--------------------|--|
| | 円銭 | | 円銭 | |
| 30年3月期第2四半期 | 105.28 | | — | |
| 29年3月期第2四半期 | 39.01 | | — | |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | | 1株当たり純資産 | |
|-------------|--------|--|-------|--|--------|--|----------|--|
| | 百万円 | | 百万円 | | % | | 円銭 | |
| 30年3月期第2四半期 | 32,951 | | 9,738 | | 29.6 | | 1,167.07 | |
| 29年3月期 | 29,222 | | 9,007 | | 30.8 | | 1,079.39 | |

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 9,738百万円 29年3月期 9,007百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円銭 | | | | |
| 29年3月期 | — | 0.00 | — | 27.50 | 27.50 |
| 30年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 30年3月期(予想) | — | — | — | 27.50 | 27.50 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

注) 平成29年3月期期末配当金の内訳 普通配当22円50銭 記念配当5円 ※設立60周年記念配当
 平成30年3月期期末配当金の内訳 普通配当22円50銭 記念配当5円 ※東証一部指定記念配当

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|------|-------|------|-------|------|-----------------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円銭 |
| 通期 | 27,600 | 12.8 | 2,000 | 31.7 | 2,000 | 46.6 | 1,400 | 59.7 | 167.77 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

本日(平成29年11月9日)付、「平成30年3月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|-------------|----------|-------------|
| 30年3月期2Q | 9,112,000 株 | 29年3月期 | 9,112,000 株 |
| 30年3月期2Q | 767,427 株 | 29年3月期 | 767,397 株 |
| 30年3月期2Q | 8,344,581 株 | 29年3月期2Q | 8,344,652 株 |

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により、上記予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料の2~3ページをご参照願います。

(第2四半期決算説明会内容の入手方法)

平成29年12月5日(火)16時より、大手町のファーストスクエアカンファレンスにて、機関投資家向けの決算説明会を開催する予定です。当説明会の資料は、翌営業日迄にTDnet及び当社ホームページにて開示・掲載をいたします。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 9 |
| (会計方針の変更) | 9 |
| (会計上の見積りの変更) | 9 |
| (セグメント情報等) | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の積極的な経済政策を背景に、企業収益や雇用及び所得環境に改善が見られる等、緩やかな回復基調の中で推移いたしました。

コンタクトレンズ業界におきましては、視力補正が必要な方々の生活においてコンタクトレンズが“必需品”として定着している環境を背景にして、1日使い捨てタイプへのシフトが続いていることや、遠近両用やサークルレンズの伸長等により、市場は緩やかながらも成長基調にあるものと推測されます。しかしながら、新素材商品のラインナップが多様化している事や遠近両用タイプのスペック拡充、サークルレンズカテゴリーへの新規参入が相次いでおり、メーカー間の競合は依然厳しい状態で推移しております。

このような状況の中、当社グループは、3ヶ年中期経営計画の最終年度となる2018年3月期につきましても、「販売戦略」、「商品戦略」、「生産・開発力強化」、「管理体制強化」を最重要施策として、変化する市場や将来の競争力強化に結実すべく積極的に経営資源を投下しております。

新しい生産施設建設によるさらなる製造能力の拡大や多品種少量生産への対応力強化、既存商品のスペック拡充等により、国産ならではの開発力、品質・安全性の高さをアピールしてシェア拡大に繋げ、収益性の改善、事業基盤の強化に努めております。また、海外輸出の拡大を通じて売上げの伸長を図っております。

この結果、売上高につきましては、コンタクトレンズが概ね順調に推移し、また、前期2月よりコンタクトレンズ小売事業を承継したことによる純増効果もあり、当第2四半期連結累計期間の売上高は13,809百万円（前年同期比14.8%増）となりました。利益につきましても、売上高の上振れや生産効率の向上による原価低減や輸出の伸長に伴う外貨建て預金等に係る為替差益の発生等により、営業利益1,193百万円（前年同期比55.7%増）、経常利益1,251百万円（前年同期比111.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益878百万円（前年同期比169.9%増）と増収増益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(コンタクトレンズ・ケア用品)

純国産使い捨てコンタクトレンズのピュアシリーズにおいて、1日使い捨てタイプの近視用、乱視用、遠近両用と、2016年1月よりバージョンアップし、うるおい感を向上させました2週間交換タイプの「2ウィークピュアうるおいプラス」等を中心に、国産の品質力やきめ細やかな対応力を積極的にアピールしてまいりました。また、瞳を際立たせるサークルレンズ「シードアイコフレワンデーUV」と「ヒロインメイクワンデーUV」等サークルレンズにつきましても、国内外において積極的な営業活動を展開してまいりました。

この結果、主力カテゴリーである1日使い捨てコンタクトレンズにおいては、前期より注力しておりますスペック拡充や広告宣伝の投下により「ワンデーピュアシリーズ」の乱視用や、近視・遠視用が伸長しており、サークルレンズカテゴリーも安定した売上を実現しております。また、ケア用品につきましても、流通在庫の消化や新規導入企業の獲得により前年同期を上回り、これにより全体の売上高は13,212百万円（前年同期比15.3%増）と増収となりました。

人件費や研究開発費、物流関連費用の増加に伴い、販管費は増加しておりますものの、売上高伸長に伴う粗利益増加等により営業利益につきましては、1,717百万円（前年同期比51.1%増）と増益となりました。

(眼鏡)

主力フレームの「ビビッドムーン」や「プラスミックス」を中心に、代理店の効率的な活用や展示会に出展する等、新販路の開拓や既存得意先での取引量拡大とともに、眼鏡レンズの販売終了により事業損益の改善に努めてまいりました。

しかしながら、大型チェーン店における主力フレームの出荷が伸び悩む等、売上高は430百万円（前年同期比2.5%減）となりました。また、9年振りの参加となります国内最大の国際メガネ展示会「IOFT2017」に関する費用等が発生したため、営業損失34百万円（前年同期営業損失10百万円）となりました。

(その他)

売上高は166百万円（前年同期比29.6%増）、営業損失19百万円（前年同期営業損失33百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は、32,951百万円となり、前連結会計年度末から3,729百万円増加いたしました。主な要因として、保育施設開設に伴う土地の取得や3号棟建設に伴い有形固定資産が2,425百万円(15,853百万円から18,279百万円)増加したことや、売上高の増加や債権の回収により現金及び預金が841百万円(1,877百万円から2,718百万円)増加したことが挙げられます。

負債につきましては、23,212百万円となり、前連結会計年度末から2,997百万円の増加となりました。主な要因は、3号棟建設に伴い設備関係未払金が2,018百万円(87百万円から2,106百万円)増加したことや、運転資金借入れにより短期借入金が921百万円(7,078百万円から7,999百万円)増加したことが挙げられます。

純資産につきましては、9,738百万円となり、前連結会計年度末から731百万円の増加となりました。主な要因として、増益により利益剰余金が増加したことが挙げられます。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、2,718百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、2,297百万円(前年同期1,161百万円の収入)となりました。資金増加の主な要因は、税金等調整前四半期純利益の増加や減価償却費の計上948百万円が挙げられます。また、資金減少の主な要因は、未収入金の増加206百万円や法人税等の支払い343百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、1,436百万円(前年同期1,857百万円の支出)となりました。これは主に、保育施設開設や鴻巣研究所の3号棟建設に伴う有形固定資産の取得1,395百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、63百万円(前年同期1,855百万円の収入)となりました。資金増加の主な要因は、長短期借入増加2,030百万円が挙げられます。また、資金減少の主な要因は、長短期借入金の返済1,382百万円やリース料の支払い481百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結通期業績予想につきましては、当第2四半期迄の進捗状況を踏まえ、国内外の市場環境や販売状況、下期以降の経営戦略等を勘案しまして、平成29年5月10日付で発表いたしました業績予想を、本日(平成29年11月9日)付「平成30年3月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ」で下記のとおり修正しております。

売上高 27,600百万円(前期:24,463百万円)

営業利益 2,000百万円(前期:1,518百万円)

経常利益 2,000百万円(前期:1,364百万円)

親会社株主に帰属する当期純利益 1,400百万円(前期:876百万円)

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成29年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,877,832 | 2,718,970 |
| 受取手形及び売掛金 | 3,869,628 | 3,766,880 |
| 商品及び製品 | 3,124,276 | 3,397,644 |
| 仕掛品 | 250,597 | 209,599 |
| 原材料及び貯蔵品 | 477,398 | 464,719 |
| 未収入金 | 356,040 | 564,671 |
| その他 | 883,970 | 792,811 |
| 貸倒引当金 | △126,392 | △105,571 |
| 流動資産合計 | 10,713,352 | 11,809,727 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 6,164,065 | 8,864,719 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 1,019,608 | 974,326 |
| 土地 | 3,804,938 | 4,041,438 |
| リース資産(純額) | 3,878,931 | 3,393,604 |
| 建設仮勘定 | 706,222 | 709,852 |
| その他(純額) | 280,097 | 295,321 |
| 有形固定資産合計 | 15,853,864 | 18,279,262 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 1,020,833 | 933,333 |
| その他 | 56,448 | 329,267 |
| 無形固定資産合計 | 1,077,281 | 1,262,600 |
| 投資その他の資産 | 1,578,010 | 1,599,963 |
| 固定資産合計 | 18,509,156 | 21,141,826 |
| 資産合計 | 29,222,508 | 32,951,554 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成29年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 927,208 | 1,095,401 |
| 短期借入金 | 7,078,396 | 7,999,745 |
| リース債務 | 1,398,457 | 1,207,782 |
| 未払法人税等 | 390,464 | 522,543 |
| 未払金 | 1,498,927 | 1,569,544 |
| 賞与引当金 | 405,633 | 440,345 |
| 設備関係支払手形 | 51,296 | 149,301 |
| 設備関係未払金 | 87,805 | 2,106,337 |
| 製品保証引当金 | 44,800 | 44,190 |
| その他 | 185,508 | 192,147 |
| 流動負債合計 | 12,068,499 | 15,327,339 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 3,575,975 | 3,314,026 |
| リース債務 | 2,774,613 | 2,739,187 |
| 退職給付に係る負債 | 1,617,225 | 1,643,985 |
| 役員退職慰労引当金 | 74,000 | 83,028 |
| 資産除去債務 | 100,060 | 100,228 |
| その他 | 5,092 | 5,092 |
| 固定負債合計 | 8,146,966 | 7,885,548 |
| 負債合計 | 20,215,465 | 23,212,887 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,841,280 | 1,841,280 |
| 資本剰余金 | 3,546,560 | 3,546,560 |
| 利益剰余金 | 3,913,299 | 4,555,122 |
| 自己株式 | △435,989 | △436,057 |
| 株主資本合計 | 8,865,150 | 9,506,905 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 225,280 | 286,751 |
| 繰延ヘッジ損益 | 25,949 | 35,018 |
| 為替換算調整勘定 | 26,549 | 27,407 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △135,887 | △117,416 |
| その他の包括利益累計額合計 | 141,893 | 231,760 |
| 純資産合計 | 9,007,043 | 9,738,666 |
| 負債純資産合計 | 29,222,508 | 32,951,554 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 12,029,093 | 13,809,847 |
| 売上原価 | 7,132,617 | 7,707,535 |
| 売上総利益 | 4,896,475 | 6,102,311 |
| 販売費及び一般管理費 | 4,129,772 | 4,908,866 |
| 営業利益 | 766,703 | 1,193,445 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1,360 | 19,291 |
| 受取配当金 | 3,562 | 3,845 |
| 受取賃貸料 | 6,695 | 35,701 |
| 為替差益 | — | 36,929 |
| 売電収入 | 18,695 | 20,596 |
| その他 | 33,400 | 42,136 |
| 営業外収益合計 | 63,713 | 158,500 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 49,806 | 57,597 |
| 賃貸費用 | 1,162 | 29,112 |
| 為替差損 | 174,482 | — |
| その他 | 13,773 | 14,003 |
| 営業外費用合計 | 239,226 | 100,713 |
| 経常利益 | 591,190 | 1,251,232 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 31 | 1,009 |
| 特別利益合計 | 31 | 1,009 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 19,193 | — |
| 固定資産除却損 | 34,975 | 0 |
| 特別損失合計 | 54,168 | 0 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 537,053 | 1,252,241 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 211,129 | 420,743 |
| 法人税等調整額 | 409 | △47,046 |
| 法人税等合計 | 211,538 | 373,697 |
| 四半期純利益 | 325,514 | 878,544 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 325,514 | 878,544 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 325,514 | 878,544 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △45,184 | 61,470 |
| 繰延ヘッジ損益 | △94,724 | 9,068 |
| 為替換算調整勘定 | 58,522 | 858 |
| 退職給付に係る調整額 | 17,732 | 18,470 |
| その他の包括利益合計 | △63,653 | 89,867 |
| 四半期包括利益 | 261,860 | 968,411 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 261,860 | 968,411 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 537,053 | 1,252,241 |
| 減価償却費 | 889,504 | 948,446 |
| のれん償却額 | — | 87,499 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △696 | 20,888 |
| 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) | 43,915 | 53,371 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | 49,425 | 32,762 |
| 製品保証引当金の増減額(△は減少) | 6,900 | △610 |
| 役員退職慰労引当金の増減額(△は減少) | △5,787 | 9,028 |
| 受取利息及び受取配当金 | △4,922 | △23,137 |
| 支払利息 | 49,806 | 57,597 |
| 固定資産売却損益(△は益) | 19,161 | △1,009 |
| 固定資産除却損 | 34,975 | 0 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 62,928 | 64,667 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | 182,731 | △198,884 |
| 未収入金の増減額(△は増加) | △52,172 | △206,966 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 149,851 | 156,718 |
| 未払金の増減額(△は減少) | 118,789 | 65,100 |
| 未払消費税等の増減額(△は減少) | △484,544 | 168,367 |
| その他 | △160,315 | 130,820 |
| 小計 | 1,436,603 | 2,616,903 |
| 利息及び配当金の受取額 | 4,922 | 23,137 |
| 利息の支払額 | △49,969 | △57,428 |
| 法人税等の支払額 | △233,785 | △343,515 |
| 法人税等の還付額 | 3,561 | 58,153 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,161,333 | 2,297,250 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 保険積立金の解約による収入 | 10,696 | — |
| 有形固定資産の取得による支出 | △1,540,643 | △1,395,463 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 3,610 | 9,195 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △74,595 | △10,667 |
| 貸付けによる支出 | △239,593 | △17,780 |
| 貸付金の回収による収入 | 4,204 | 22,536 |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | △841 | △27,159 |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | 9,371 | 589 |
| 資産除去債務の履行による支出 | △27,750 | — |
| その他 | △2,369 | △17,735 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,857,909 | △1,436,484 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | 1,862,493 | 1,030,000 |
| 長期借入れによる収入 | 1,709,760 | 500,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △1,069,030 | △882,578 |
| 配当金の支払額 | △187,115 | △229,727 |
| 自己株式の取得による支出 | — | △67 |
| リース債務の返済による支出 | △460,564 | △481,075 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 1,855,542 | △63,448 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △668 | 4,383 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 1,158,297 | 801,699 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 2,028,853 | 1,877,832 |
| 合併に伴う現金及び現金同等物の増加額 | — | 39,438 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 3,187,151 | 2,718,970 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | その他(注) | 合計 |
|-------------------|---------------|---------|------------|---------|------------|
| | コンタクトレンズ・ケア用品 | 眼鏡 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 11,459,133 | 441,683 | 11,900,816 | 128,276 | 12,029,093 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 11,459,133 | 441,683 | 11,900,816 | 128,276 | 12,029,093 |
| セグメント利益又は損失(△) | 1,136,138 | △10,830 | 1,125,307 | △33,953 | 1,091,353 |

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれないセグメントであり、眼内レンズや携帯電話事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|-----------|
| 報告セグメント計 | 1,125,307 |
| 「その他」の区分の損失(△) | △33,953 |
| 全社費用(注) | △324,650 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 766,703 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の総務部や経理部、情報システム部等の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | その他(注) | 合計 |
|-------------------|---------------|---------|------------|---------|------------|
| | コンタクトレンズ・ケア用品 | 眼鏡 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 13,212,758 | 430,796 | 13,643,555 | 166,291 | 13,809,847 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 13,212,758 | 430,796 | 13,643,555 | 166,291 | 13,809,847 |
| セグメント利益又は損失(△) | 1,717,122 | △34,658 | 1,682,463 | △19,606 | 1,662,857 |

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれないセグメントであり、眼内レンズや携帯電話事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|-----------|
| 報告セグメント計 | 1,682,463 |
| 「その他」の区分の損失(△) | △19,606 |
| 全社費用(注) | △469,412 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 1,193,445 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の総務部や経理部、情報システム部等の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。